



治療による違いについて
(かぶせものの違い)

かぶせものの治療に使用する素材



セラミック

陶材またはジルコニアを歯科用に加工したもので、色が白く、大変美しく仕上がります。



ゴールド

多少目立ちますが、とても適合がよく、むし歯が再発しにくい素材です。



銀歯

健康保険適用。他の素材に比べむし歯の再発や金属アレルギーの危険性が高くなります。

歯の治療は、使用する材料や方法により
主に3つの点で違いがあります。

違い
その1

美しさ

違い
その2

耐久性

違い
その3

安全性

違い
その1

美しさ

白くて自然な
美しさ

小さなつめものでも、大きく口を開けて笑うとやはり見えています。

その点、セラミックは白く美しいため、**周りの人に気づかれることもほとんどありません。**

美しさなら断然セラミック!!

= セラミック =



周りに気づかれ
ない美しい白さ

※写真はオールセラミックです

= 銀歯 =



大きく口を開け
ると見えてしま
うことも

違い
その2

耐久性

耐久性

かぶせものは、その**精度や素材のかたさ**などによって、**使用できる年数に違い**がでることもあります。

なかでも、ゴールドは**耐久性に優れた素材**です。

また、**耐久性と美しさの両方**を求められる方には、**セラミック**もおすすめです。

丈夫なかぶせもの

= ゴールド =



適度なやわらかさ
精度も高い

= メタルセラミック =



金属にセラミックを焼き付けたもの

※耐久性は使用状況によっても異なります

違い
その3

安全性

金属アレルギー

歯科用の金属は少しずつ溶け出して、**金属アレルギーの原因**になることもあります。

オールセラミックなら**金属を一切つかっていない**ので安心です。

ゴールドも**金属アレルギー**になりにくい素材です。

ゴールドは酸に
溶けにくい金属です
(それぞれ強い酸に1分間つけてみると...)

= ゴールド =



ほとんど変化
無し。酸に溶
けにくい

= 銀歯 =



金属イオンが
溶け出し
まっ黒に酸化

※酸化の程度は口腔内環境によって異なります